

平成24年度 病害虫発生予察注意報第1号

平成24年6月1日
静岡県病害虫防除所長

病害虫名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）
対象作物：落葉果樹（うめ、もも、キウイフルーツ、なし、かき等）、びわ、
かんきつ

1 注意報の内容

- (1) 発生が予想される地域：県内全域
- (2) 発生が予想される時期：6月上旬～8月中旬
- (3) 発生程度：多い
- (4) 防除時期：6月上旬～8月中旬

2 注意報発表の根拠

- (1) 1月の雑木林の落葉中におけるチャバネアオカメムシ成虫（図1）の越冬量調査では、県下全域の平均越冬成虫数は1㎡当たり1.6頭で、平年（0.9頭）より多かった。地域別では、東部は0.8頭（平年0.7頭）、中部は1.2頭（平年0.8頭）、西部は2.4頭（平年0.9頭）であった。
- (2) カメムシ類の越冬成虫は5月上旬からカンキツの花や落葉果樹に飛来する。5月中下旬におけるカンキツの花の叩き落とし調査では、県平均寄生虫数4.4頭/5着花枝で平年（0.4頭）の10倍であった。地域別では、東部は5.0頭（平年0.5頭）、中部は5.6頭（平年0.4頭）、西部は2.5頭（平年0.4頭）であった。
- (3) 県内6カ所に設置しているフェロモントラップでは、5月第1～4半旬のチャバネアオカメムシの平均誘殺数は24頭/半旬で平年（13頭）より多く、ツヤアオカメムシ（図2）の平均誘殺数も7.5頭/半旬で平年（5.3頭）より多かった。
- (4) 本年はカメムシ類の越冬量が多く、餌となるスギ・ヒノキの毬果が少ないことから、カメムシが餌を求めて果樹園へ多数飛来する可能性がある。

3 防除方法

- (1) 越冬成虫は、ウメ、モモ、ビワでは収穫期まで、キウイフルーツ、なし、かき、カンキツ類では8月中旬まで加害するので、この時期の防除に重点を置く（被害写真 図3、4）。
- (2) 今後は、カメムシ類の飛来に注意し、ほ場で寄生を確認したら直ちに薬剤防除を行う。成虫の移動範囲は広いので、地域での一斉防除が効果的

である。スギ、ヒノキ林の隣接地域では特に注意する。

- (3) 農薬による防除については平成 24 年度「農薬安全使用指針・農作物病虫害防除基準（ホームページ <http://www.s-boujo.jp/>）」を参照する。
- (4) 今後の発生推移は、予察灯・フェロモントラップへの誘殺消長が参考になる。誘殺情報は病虫害防除所ホームページ (<http://www.agri-exp.pref.shizuoka.jp/boujo/boujo.html>) で提供している。
- (5) 不明な点については、病虫害防除所、農林技術研究所果樹研究センター、農林事務所、農協等に問い合わせる。



図1 チャバネアオカメムシ成虫



図2 ツヤアオカメムシ成虫



図3 ナシに寄生するチャバネアオカメムシと吸汁により陥没した果実



図4 カメムシの吸汁により陥没したカキ